

東北・福島+埼玉=福の玉 が生まれ、ゆっくりふくらんでいきますように...

9月&
10月号

福玉便り

ふ く た ま だ よ り

2022年9月1日発行

通巻 第98号

発行:『福玉便り』編集委員会 NPO法人埼玉広域避難者支援センター・(一社)埼玉県労働者福祉協議会

協力:生活協同組合コープみらい埼玉県本部

連絡先:NPO法人埼玉広域避難者支援センター 〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤6-4-21 ときわ会館1F TEL0120-60-7722



福玉相談センター：電話 0120-60-7722 (フリーダイヤル)

メール：fukushima_soudan@yahoo.co.jp 相談日：月、水～金 (9:30～16:30)



福玉相談センターの開所日は、月曜日、水曜日、木曜日、金曜日の9:30～16:30です。電話相談ができない場合もありますが、メールでの相談は随時行っています。なお、メールでの相談は随時行っております。こちらから折り返し、ご連絡しますので、差し支えなければ、連絡先をメールの文面に記入していただくようお願いいたします。ご迷惑をおかけしますが、ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

新型コロナウイルスが猛威をふるい続け、第7波は終息の気配さえ見せない状況の中、読者の皆様はいかがお過ごしでしょうか。東日本大震災の発災から11年余りが経過して、避難されてきた方々の中にはそれぞれの居住地でやっと落ち着いた生活ができるようになったとお感じになられていた方もいらっしゃると思います。しかし「コロナ禍」となって3年目の夏を迎え、行動制限はないものの、いまだに「雇い止め」や「医療ひっ迫」、それに伴う「自宅療養者の増加」、「物価高騰」など私たち生活者を新たな不安に陥れるような言葉を毎日のように目や耳にする日々が続いています。このような日々が終息することを願ってやみませんが、その兆しが見えない今、私たち相談員は、皆様のちょっとしたお困りごとにも耳を傾け、少しでも皆様が安心した生活を送れるようなお手伝いをしたいと思っておりますので、どうぞお気軽にご相談ください。

福玉相談センターも久しぶりに交流会を開催します！

●日時：11月19日（土）13：00～15：30

●場所：東松山市市民活動センター小会議室



感染対策を取りながら、簡単な健康チェックや体操をして、心と身体をリフレッシュさせましょう！お近くの方はお気軽にご参加ください。

*新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、開催を中止する場合があります。

ご来場前にご連絡いただければ幸いです。

福玉相談センター：電話 0120-60-7722 (フリーダイヤル)

本当に『復興』のためでしょうか？

―福島国際研究教育機構について―

浜通りの「福島イノベーション・コースト構想」は、「東日本大震災及び原子力災害によって失われた浜通り地域等の産業を回復するため、当該地域の新たな産業基盤の構築を目指す国家プロジェクト」として進められてきました。ロボット、エネルギー、廃炉、農林水産等の分野におけるプロジェクトを進め、産業集積や人材育成、交流人口の拡大等に取り組むとしています。

政府は、浜通りに「福島国際研究教育機構」を設立することも決めました。先日、福島民報は、その「福島国際研究教育機構」の最有力候補地として、浪江町が浮上していると報じています。

イノベーション・コースト構想の骨格は、2014年6月に決まっていました。その3ヶ月後の9月には、政府は「ロボット革命実現会議」を開催し、同じく11月には「ロボット研究・実証拠点整備等に関する検討会」が開催されています。それぞれに「ロボット新戦略」「ロボット研究・実証拠点整備等に関する検討会中間整理」がまとめられています。

「ロボット新戦略」には、屋外で利用するフィールドロボット実用化の動きを加速化する「福島浜通りロボット実証区域」を設け、「陸上・水中・空中」のあらゆる分野におけるロボット開発の集積拠点とする」と定められました。こうしてできたのが、南相馬市の、「福島ロボットテストフィールド」です。「ロボット新戦略」

の「陸上・水中・空中」の言葉は、「陸・海・空」という言葉に変わって、「使用環境（陸上、海中、空中）」として紹介されています。

ただ、その「陸・海・空」の後ろには「軍」もつけられると、ある地元の方はふと気がつき、不安な話と話していました。実際に、ロボットテストフィールドでは、さまざまな組織が実証テストをおこなっています。その中には、防衛装備庁も含まれています。もちろん、福島第一原子力発電所の廃炉のための技術、災害時に役にたつ技術を研究する目的があると思います。

が、学術の世界では、長く、そういった先端的な研究を人々のために利用することと、軍事に利用することの境目が分かりにくい側面があるため、問題になっています（*）。

このロボットテストフィールドは、「福島国際研究教育機構」と統合されることになっています。また、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（JAEA、三春町）、国立研究開発法人量子化学技術研究開発機構（Q

ST、いわき市）、国立研究開発法人国立環境研究所（NIES、三春町）も統合され、大きな規模になる予定で。

この福島国際研究教育機構は、第208回（令和4年1月17日（6月15日）の国会で改正された、福島復興特措法に明記され、福島における「新産業創出等研究開発に係る人材の育成及び確保に関する施策」のための計画を作成することになっています。

これまでの福島国際研究教育機構の有識者会議の中では、長崎の原爆を作ったハンフォードサイトや、DARPA（アメリカ国防高等研究計画局）などがモデルや参考として名が挙がることもあり、「新産業創出等研究開発」は、福島復興ではなく、国防のためではないのか、という印象も与えています。

また、これは別の流れではありますが、同じ第208回の国会で成立した「経済安全保障法制」に関する有識者会議（7月25日）の資料には、はっきりと「軍事技術開発への研究者の動員」

という言葉が記されています。また、法律にも資料にも「守秘義務」という言葉も見られ、どう足掻いても「知ることができない」ことが増えてしまう懸念があります。

「福島復興」という名の元に進められてきた「福島国際研究教育機構」ですが、少なくとも、福島復興特措法の改正条文を読むと、残念ながら「復興」の気配が消えてしまっています。15の付帯決議には、人口増大、茨城県原子力関連研究施設等の連携、リニア研究所誘致なども書かれていて、13番目に「復興・再生」のために「政府は支援を継続」という言葉が書かれています。そのことが、最も実現してほしいことです。

機構で行われる研究開発や、教育設備が、福島で被害を受けた一人ひとりの暮らしの復興に役立ってほしいと切に願うとともに、「元の通りの風景を一ヶ所でも残してほしい」と、以前、埼玉に避難をしている方が話してくださった言葉を、たびたび、思い出しています。

（編集部・吉田）

政府出資の原子力損害賠償・廃炉等支援機構

原子力損害の賠償請求は すべてお済みですか？

原子力損害賠償に関する個別相談のご案内

福島原子力発電所事故から11年が経過し、東京電力へ請求可能な多岐にわたる賠償項目は、時間の経過とともに請求をすることが難しくなりつつあります。「賠償全般で請求漏れがないか？」を確認する意味も含め、この機会に原発賠償に詳しい弁護士に相談してみてはいかがでしょうか？

- ・請求漏れがないか相談したいという方
- ・まだ住居確保にかかる費用の賠償請求がお済みでない方
- ・住居確保にかかる費用の賠償可能残額がある方
- ・ADRの申立てについて相談したいという方 など

●日時 9月11日(日)午前10時～午後4時

●会場 シアター1010

●内容 東京都北千住 個別相談会 10:00～16:00

対象：原子力損害においてお困りの全ての皆様

相相談時間は1回1時間(時間予約制)

●連絡先

全体説明会へのご参加、個別のご相談は事前予約をお願いいたします。(全体説明会、個別相談のいずれか一方のみでもご参加いただけます。)

予約専用ダイヤル120-330-540

受付時間9:30～17:00 土日も受付(祝日を除く)新型コロナウイルス感染症や荒天等により実施予定の相談会が、変更・中止となる可能性もございます。相談をご希望の方は予約専用ダイヤルにて事前にご確認をお願いいたします。

●ご都合により来場できない方は、

電話相談 をご利用ください。

0120-013-814

10:00～13:00、14:00～17:00 月曜～土曜(祝休日、12/29 1/3 を除く)



6月26日(日)、炎天下の中じゃがいも収穫祭を開催しました。時間は9時～で、思ったより風があり、皆さんも楽しんで無事終わる事ができました。メークイン・男爵・キタアカリのじゃがいもを収穫し、23名の参加者がそれぞれ分けあって11時に終了しました。大熊町・楢葉町・富岡町・南相馬市・浪江町・岩手県からの避難者と、地域住民の方が参加されました。あゆみの会の畑では、これから収穫される夏野菜などを楽しみにしています。10月9日にはさつま芋収穫・秋刀魚バーベキューを予定しています。

(あゆみの会・石上)

あゆみの会のじゃがいも収穫祭

新型コロナウイルスの感染拡大により、交流会の流動的な状況が続いておりますが、一部の交流会は感染対策の上で再開しています。また、状況に応じて他の交流会が再開される可能性もあります。**詳しくは各交流会の連絡先にお問い合わせください。**なお、**各交流会に参加される方は、体温測定およびマスク着用の上でご参加いただき、参加中は消毒や換気にご協力ください。**

③	加須市	双葉町老人クラブ女性会&さいがい・つながりカフェ	080-5532-7380 (薄井さん)
⑤	加須市	すくすくのおそび広場	090-2411-8598 (戸恒さん)
⑥	加須市	オバトン	090-6526-8560 (藤井さん)
⑧	上尾市	東日本大震災に咲く会ひまわり	080-3091-6215 (橘さん)
⑩	熊谷市	くまがや結の会	090-7661-9236 (林崎さん)
⑬	越谷市	あゆみの会	090-9425-2001 (石上さん)
⑮	川口市	ひまわりの会	080-5431-0123 (島田さん)
⑲	さいたま市	さいがい・つながりカフェ	080-5532-7380 tunagari.saitama@gmail.com
⑳	新座市	新座つながりカフェ	090-2402-9155 (谷森さん)
㉑	ふじみ野市	おあがんなんしょ交流会	090-5345-8408 (松舘さん)
㉒	川越市	ここカフェ@川越	070-5080-4494 (鈴木さん)
㉓	さいたま市	玉兎の会	090-6128-1948 (小林さん) https://gyokutonokai.wixsite.com/2018

③【双葉町老人クラブ女性会&さいがい・つながりカフェ】
9/27(火)、10/25(火)
10:00~12:00 いきいき広場
080-5532-7380(薄井さん)

⑬【あゆみの会】
さつま芋収穫祭と秋刀魚バーベキュー 10/9(日)10:00~
あゆみの会の畑
090-9425-2001(石上さん)

⑩【さいがい・つながりカフェ】第2
木曜と第4木曜の11:00~15:00(埼玉
県男女共同参画推進センター「With-
Youさいたま」和室) 当面、マスク
着用、飲み物・お昼個食持参 080-
5532-7380
tunagari.saitama@gmail.com

⑩【くまがや結の会】「暑っーい」熊谷の夏、コロナ感染者も気温と正比例です。何れも落ち着き冷える時期まで交流会は自粛します。
090-7661-9236(林崎さん)

⑥【オバトン】7月からコロナの感染が急拡大したため7/28は時間等を短縮し実施しましたが、8月は自主規制し中止としました。9月は下記の予定通りですが、中止の時はハガキ、電話などで連絡します。不明の時は藤井まで連絡をお願いします。(※10/11(火)はキャスルさの休館日でお休みです。お間違いないように！)
9/13(火)、9/22(木)、10/27(木)
10:00~14:30
090-6526-8560(藤井さん)

㉑【おあがんなんしょ交流会】
9/28(水) 13:30~
それぞれの「ちょっと良い話」
やゲーム等、バス旅行の概略
西公民館 第2学習室 10/27
(木) 小田原方面 日帰りバス
旅行 8:00上福岡駅西口出発
(参加費5000円)
090-5345-8408(松舘さん)

続くコロナ禍 自己防衛のために

発表される感染数に右往左往している昨今、予防対策行動の継続実施が、大きな力になってきます。今回は外出を最小限に籠りがちな日常で、発症しやすい「エコノミー症候群」の予防方法を図解で紹介します。是非とも継続して実践しましょう。(福玉相談センター相談員:松舘)

以下、厚生省ホームページより https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_07384.html

○エコノミークラス症候群とは

食事や水分を十分に取らない状態で、車などの狭い座席に長時間座っていて足を動かさないと、血行不良が起こり血液が固まりやすくなります。その結果、血の固まり(血栓)が血管の中を流れ、肺に詰まって肺塞栓などを誘発する恐れがあります。

○「エコノミー症候群」の予防のための運動例

